

広島市植物公園 見どころ案内

2023年1月21日
通巻第569号

今週の
見どころ案内
掲載植物

現場にはこの表示
がしてあります。

展示会のご案内

④展示資料館
植物写真コンテスト作品展
(1/14~2/12)
植物公園写生大会入賞作品展
(1/21~2/9)

⑥展示温室
冬の鉢花展 (1/7~2/5)

ウメ ‘冬至’ (バラ科)

特に早咲きの品種で、暖かい年は冬至の頃から咲き始めるのでこの名がつけました。たくさんのつぼみをつけており、徐々に白い花が咲き始めています。

クンシラン

(ヒガンバナ科)

橙色の花が下向きに咲いています。一般にクンシランとして流通している植物は正式にはウケザキクンシランといい、本来のクンシランはこちらになります。

デンドロビウム

キシダ フミオ (ラン科)

昨年6月にシンガポールから岸田総理に献名されたランがこの度開花しました。国内でご覧いただけるのは、当園だけです。

アイスチューリップ (ユリ科)

寒い時期に咲くため、長期間花を楽しむことができます。特別な冬咲きチューリップではなく、人工的な温度処理により冬に咲かせたものです。

ヤマコウバシ

(クスノキ科)

冬に葉が枯れても、枝についたまま春に新芽が出るまで、葉は落ちません。これにあやかり当園売店で、合格祈願のお守りとして販売しています。

ソシンロウバイ

(ロウバイ科)

中国原産のロウバイの園芸品種です。花の中心部が暗紫色のロウバイと違い、花全体が黄色です。

シナマンサク

クロガネモチ(実)

マンリョウ

(サクラソウ科)

「万両」の名から縁起物として正月の床飾りに用いられます。葉の下からぶら下がるように、たわわに赤い実をつけています。

★大温室で見頃の花 カエンボク、ゴクラクチョウカ、クレロデンドルム・スプレンドゥス、ブーゲンビリア、カエンカスラ、アリストロキア・トリカウダ、カトレヤほかラン類、カカオ、ポインセチア
【バナナ、レッドパイナップル、ソーセイジノキ、パパイヤ、コーヒー、パニラ(以上は果実)】

